

研究者情報

フリガナ 氏名	セイダ コウジ 清田 耕司	職名/学位	船長・准教授/学士(法)
所属 学科	練習船広島丸	所属学会	日本航海学会, 日本LD学会
専門 分野	・船員教育 ・船舶管理(船舶検査)	利用可能な 設備等	・シーカヤック ・デジタルアーカイブス化機材

研究テーマ

- ・瀬戸内の造船史
- ・瀬戸内の離島と北前船のつながり
- ・アマモをテーマにした青少年への海洋体験学習

瀬戸内海の離島から考える海事史の継承

明治期から昭和にかけて造船で栄えた大崎上島は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する完全離島である。消滅可能性離島といわれる大崎上島町の船に関する歩みを次世代へ引き継ぐために、「大崎上島町の船舶に起因する地(知)と技の継承に向けて」として、大崎上島を中心に芸予諸島付近における海事を中心にした造船(大崎上島町で生まれた船や縁のある船)・瀬戸内海の水運(北前船船主である廻船問屋が存在した)の調査・資料収集を進めるために、本校に「広島商船高等専門学校COC大崎上島歴史文化研究会」を立ち上げ取り組んでいる。研究会に参加する学生を中心に、フィールドワークとして地元住民及び造船所に関わった方々やそのご家族への聞き取り調査を行っている。



昭和初期の機帆船

また、大崎上島町地域協議会や地元のNPOとも連携して大崎上島における歴史資料となる写真などの資料収集やデジタル化を協力して行い、地域の活性化の一助となるよう目指している。収集データについては、郷土学習の教材・大崎上島の造船産業史MAPなどの作成及び、島内外へ発信するための「バーチャル地(知)と技の歴史博物館」を現在作成中であり、平成30年春に情報発信開始できるよう計画を進め、離島である大崎上島の活性化の一助を目指している。

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

- ・大崎上島産業史・広島商船史年表
- ・ホームページの作成
- ・郷土学習教材の作成
- 「瀬戸内海と我が校2016年版」
- ・収集資料のデジタルアーカイブス化
- ・明治期の航海計器を修復展示



提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	可	可